

議会のあり方調査特別委員会・広聴検討分科会記録	
開 会 年 月 日	平成30年 6 月 13 日
開 会 時 刻	午前11時16分
閉 会 時 刻	午前11時47分
出席委員名	◎宿 典泰 ○上村 和生 井村 貴志 野崎 隆太 吉岡 勝裕 黒木騎代春 山本 正一 西山 則夫 議長
欠席委員名	野口 佳子 中山 裕司
署 名 者	—
担 当 書 記	山口 徹
審 査 案 件	1 議会報告会（意見交換会）について (1) 皇學館大学生との広聴活動 (2) 市民からの議会報告会開催要望 2 先進地等への視察について
説 明 者	議会事務局調査係長山口、調査係野村主事

会議の概要

宿分科会長が開会を宣言し、直ちに会議に入り「議会報告会（意見交換会）について」及び「先進地等への視察について」を議題とし、協議した内容は、次のとおりでした。

協議の内容

1 議会報告会（意見交換会）について

(1) 皇學館大学生との広聴活動

はじめに宿分科会長から皇學館大学生との広聴活動の経緯として、以前 12 中学校区で実施した議会報告会での参加者減少、形骸化等の課題と、平成 28 年に実施した議会アンケート調査の結果の中で若い方の議会に対する関心の低さや選挙権（18 歳）の改正に伴い、若い方々への広聴活動の充実を図ってきたことの説明があった。

また、2 月 23 日に当分科会委員 7 名が大学へ出向き、大学生と昨年の活動をふりかえり、初めての活動で学生主導になったことは議員として否めない状況であったが、若い世代との距離感を近づけることができ、大学生側も市議会との交流を継続することに前向きであったとの報告があった。

その後、広聴活動の充実を図るために新たな活動を協議したところ、委員から大学生に拘ることなく高校生辺りからも話を聞いてみてはとの意見があり、会長から議会に関心を持ってもらう場として、高校生議会（仮称）を実施してはどうかと提案があった。委員からは大学生にコーディネーターを担ってもらうなど賛成の意見があり、今後は高校生議会（仮称）の実施検討を踏まえて、皇學館大学生との広聴活動を継続していくことが確認され、近日中に皇學館大学の学生の方へ話をもっていくことが、正副会長と事務局に一任された。

(2) 市民からの議会報告会開催要望

市ホームページ「市民の声」に 2 名の市民から議会報告会の開催要望があり、既に正副会長と事務局で確認し、当分科会において改めて報告・意見交換の手法等を検討中であり、決して開催しないわけではないと回答した旨が委員へ周知された。

なお、議会報告会の手法等については、次回以降の当分科会で委員から提案いただき、議論していくことを確認した。

2 先進地等への視察について

会長から、広報検討分科会が先月先進地視察を実施したこと、条例等検討分科会は現状、視察の予定なしであることの報告があり、当分科会において、視察実施に関して協議した結果、先進地視察を行い広聴活動の参考にすべきとの意見があり、当分科会として視察を実施する方向が合意され、今後、視察先等については、正副会長に一任することで、委員の異議なく了承された。

上記署名する

平成 30 年 6 月 13 日

分科会長